

# 学校法人五島育英会 学校評価（自己評価）制度 2022 年度 実施計画書

学校名	東京都市大学二子幼稚園
校（園）長名	細川 秀夫

## 1. 第 2 期事業計画期間の教育目標

建学の精神に照らし、次の子ども像を教育目標とする

- ①（健康）たくましい子ども
- ②（知性）観察力と判断力にすぐれ、協力しあって遊ぶ子ども
- ③（風格）意欲的に 志たかく 最後までやりとげる子ども
- ④（自立）自分の思いをはっきり伝え、人の話をよく聞く子ども
- ⑤（感動と畏敬）正しいこと、美しいもの、すぐれたものに感動し素直に受け入れられる子ども

## 2. 指標（目標）とするイメージ

- ①子どもがいきいきわくわくと遊び、これからの国際社会や社会の変化に対応する「生きる力の芽生え」を育む幼稚園
- ②安心・安全な環境の下、保護者が子どもの確かな成長を感じながら楽しく子育てができる幼稚園
- ③東急グループ、東京都市大学グループ校との連携・協力が園児の健やかな成長を支えている幼稚園
- ④変貌を遂げる（進化する）二子玉川の街にお住まいの方から愛され信頼される幼稚園
- ⑤卒園児の進学割合が、公立小学校：国・私立小学校が 1：1 である幼稚園

## 3. 第 2 期事業計画達成のための重点目標・重点課題及び 2025 年度達成目標

重点目標	重点課題及び 2025 年度達成目標
I 良質な教育の実践	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある教育プログラムの開発・実践               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【課外活動の充実】 社会の変化、保護者ニーズに応える複数の課外活動が実施されている（受益者負担）</li> <li>2. 【たくましい体づくりの推進】                   <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 全園児が運動を通して体を動かす喜びを知り、健康な体づくりに取り組む</li> <li>-2 年長児の運動能力が向上している</li> <li>-3 虫歯の割合（乳歯+永久歯）が年長全体の 12%以下になっている</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>② サポート体制の充実               <p style="margin-left: 20px;">【預かり保育の拡充・充実】</p>               預かり保育の利用延べ人数               <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 課業期間 4,200 人（月・火・木・金 3,800 人 水 400 人）</li> <li>-2 長期休業中（春期・夏期・冬期）600 人</li> </ol>               預かり保育による 年間見込収入合計額 5,200 千円 補助金見込額 1,900 千円             </li> <li>③ 教職員の人材育成・資質向上               <p style="margin-left: 20px;">【教員研修の充実】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 外部研修への積極的な参加</li> <li>-2 都市大グループ職員としての意識向上</li> </ol> </li> <li>④-1 ICT を利用した教育計画 2024 年度 ICT を活用した新しい「課題あそび」を研究開発し、実践に取り組む</li> <li>④-2 国際化計画 2024 年度 卒園時に色や動物などの簡単な英単語の理解や英語による日常の簡単な挨拶の習得</li> </ol>

Ⅱ グループ間連携の深化・拡大	<b>各学校の連携強化</b> <b>【幼大連携・学校間連携の充実】</b> -1 幼大連携による学生サポーターの年間参加者数 100 人の実現 -2 等々力中高に加えて付属小または付属中高のネイティブ教員による英語活動の実施 -3 塩尻高生徒の本幼稚園職場体験の実現 -4 付属小内部進学制度の受け入れ上限 (20 人) に近い進学者数の実現
Ⅲ 教育環境の整備・充実	<b>学習環境の整備・充実</b> <b>【安心・安全な教育環境の整備】</b> 安心・安全な保育・教育環境が整備され、園庭、保育室内に子どもたちの明るく楽しい声が響き渡っている <b>効率的業務の推進</b> <b>【ICT スキルの向上と事務用品の整備】</b> -1 園業務支援システム (パステル) 等の活用促進を図る -2 パソコン技能の向上を図る -3 事務用品の更新
募集・広報活動	<b>2025 年度目標</b> <b>志願者数</b> 男子 55 人 女子 55 人 合計 110 人

#### 4. 本年度の施策内容 (達成目標) 及び具体的な取り組み内容

<b>重点目標Ⅰ 良質な教育の実践</b>		
<b>重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践</b>		
<b>本年度の施策内容 (達成目標)</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
社会の変化、保護者ニーズに応えるスポーツ分野、芸術分野の課外教室の充実を図る。 ・新規課外教室 (サッカー教室・ミュージカル教室) の実施に伴う環境整備及び活動の総合的な検証 ・次年度以降の新規課外教室の検討	・課外教室実施に伴う備品・用具等の環境整備を行う。 ・参加園児数・技能の向上・ねらいの達成状況等、多角的な観点から検証する。 ・遊戯室以外でできる課外教室の調査・研究を進める。	・安全な環境整備ができたか。 ・定員を充足したか。 ・園児・保護者が満足したか。 ・具体的な検討がされたか。
本園の教育目標である「豊かな心とたくましい体」の実現に向けて体づくり教育を推進する。 ・正課運動教室の充実 ・体づくりプログラムの実施 ・歯ブラシ教室の実施・検証	・正課運動教室の検証と改善に取り組む。 ・過去3年間の5歳児 (年長) の虫歯罹患率を整理し、全国・東京都と比較する。 ・年少からの虫歯罹患率の調査を開始し、罹患率の経年変化を追う。 ・歯ブラシ教室を継続実施する。	・運動能力の向上が見られたか。 ・年少から年長までの虫歯の罹患率の数値化ができたか。
<b>重点課題② サポート体制の充実</b>		
<b>本年度の施策内容 (達成目標)</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
預かり保育に対する非常に高い保護者ニーズに応える。 ・預かり保育の拡充 (午前保育・長期休業期間)	・午前保育の預かり保育 (長期休業中前・水曜日) を全学年対象に実施する。 ・長期休業中の預かり保育日数を増やす。 ・幼稚園教育と子育て支援、さらに財務の三つの観点から、今後の預かり保育の方向性について検討する。	・2019 年度平日利用者総数 3,108 人の9割まで回復できたか。 ・3つの観点からなる検討報告書ができたか。
<b>重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上</b>		
<b>本年度の施策内容 (達成目標)</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>

<p>幼稚園と保育園の大きな違いの一つに教育の研究と修養の充実の差があり、良質の教育を提供するため、教員の不断の研修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修参加延人数 60 人</li> <li>塩尻高校、付属中高、等々力中高視察研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都私立幼稚園協会夏季研修会、世田谷区研究発表会を悉皆研修とする。</li> <li>園内研修会を定期開催する。</li> <li>コロナの影響が減少すれば、計画通りの視察研修を実施する。塩尻高校の視察研修は2名増員する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>延 60 人の参加があったか。</li> <li>定期研修会ができたか。</li> <li>視察研修ができたか。</li> </ul>
---	--	--

**重点課題④ー 1 ICT を利用した教育計画**

本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
<p>ICT 化社会の急激な進展は、小中高の学習活動に大きな変化をもたらしていることを踏まえ、幼小接続の観点から ICT 機器を活用した新しい幼児教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を活用した新しい「課題あそび」の開始</li> <li>ICT を活用した園行事の配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長用タブレット 14 台を配備し、ICT を活用した教育プログラム「KitS」を開始する。</li> <li>運動会、発表会等のライブ配信を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「KitS」が課題あそびの中に位置付いたか。</li> <li>表現する力や創造性を育むことができたか。</li> <li>年間を通してライブ配信ができたか。</li> </ul>

**重点課題④ー 2 国際化計画**

本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
<p>社会の国際化の進展を受けて、英語学習が幼児教育の一つの柱となっていることを踏まえ、国際化教育の一環としてサイバードリーム（SD）による英語活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SD の継続実施</li> <li>SD の外国人講師による英語活動及び教員研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SD による英語活動を毎日 10 分間、年少から年長まで継続実施する。</li> <li>外国人講師による英語活動及び教員研修を年 2 回実施する。</li> <li>SD を導入して 3 年経過した。この英語活動の教育効果を検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日 10 分間の英語活動が実施できたか。</li> <li>教員の機器活用のスキルが向上したか。</li> <li>教育効果の検証ができたか。</li> </ul>

**重点目標Ⅱ グループ間連携の深化・拡大**

**重点課題 各学校の連携強化**

本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
<p>都市大グループ校との連携は本園の重要施策の一つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市大人間科学部学生サポーター制度の推進</li> <li>等々力中高、付属小学校ネイティブ教員による英語活動の実施</li> <li>等々力中高の理科部による科学体験教室の実施</li> <li>塩尻高校生の職場体験受け入れに伴う課題抽出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響が減少した場合、各種行事で延べ 100 人の学生サポーターを受け入れる。</li> <li>ネイティブ教員による年中、年長対象の英語活動を実施する。（各学期 1 回）</li> <li>科学体験教室を年中、年長で実施する。</li> <li>職場体験導入に係る課題について整理し、塩尻高校と共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事に何人の学生サポーターが参加したか。</li> <li>定期的にも実施できたか。</li> <li>実施に向けての課題が整理できたか。</li> </ul>

**重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実**

**重点課題 学習環境の整備・充実**

本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭総合遊具（アスレチック）の修繕</li> <li>老朽化している備品の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスレチックのリニューアルを行う。</li> <li>年中の長机、暖飯器を新規購入する。</li> </ul>	<p>予定通り整備できたか。</p>

重点課題 効率的業務の推進		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
2019年度に導入した園業支援システム（パステル）によって、教員の事務作業の効率化は著しく進んだことから、今後もICT化を加速させる。 ・園業支援システムパステルの運用の充実 ・パソコン研修会実施	・パステルの校務処理一覧を作成し、責任者を明確にする。 ・PC研修会を年6回開催する。	・校務処理一覧ができたか。 ・教員のスキルが向上したか。
募集広報活動		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
区内59園の全体入園手続者見込数は昨年より240人少ない2,385人で、3年連続の大幅な減であり、定員確保は必須である。 ・コロナ禍での安全・安心な説明会の実施 ・目標数値、夏期説明会参加家庭数170家庭、志願者数110人	・8月に定員上限35～40家庭とする説明会を6回、10月に1回の計7回開催する。 ・WEB出願を導入する。	・説明会参加家庭数、志願者数の目標数値が達成できたか。
その他学校目標		
学校課題① 安心・安全な幼稚園		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
新型コロナウイルス感染症の感染防止の徹底を図り、平常の教育・保育活動を維持することが重要課題である。 ・感染防止の徹底 ・防災・防犯・園内事故防止等の徹底	・本園の感染防止対策に基づき、着実な感染防止、衛生管理を行う。 ・施設・遊具チェック表及び保育安全指導チェック表等を用いた定期点検を行う。 ・怪我の月別統計等を活用し、怪我の防止を図る。 ・AED研修等、緊急時対応訓練を行う。	・感染を防ぐことができたか。 ・園児の怪我が減少したか。 ・緊急時の対応が身に付いたか。
学校課題② 私立小学校の理解を深める		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
本園の私立小学校への進学は約1/3で、保護者の進学ニーズは比較的高いことから、そのニーズに応えるための説明会等を実施する。 ・内部進学制度附属小学校説明会の実施 ・私立小学校の魅力を知る説明会の実施	・内部進学制度説明会を年長、年中を対象として実施する。 ・副園長による希望者対象の私立小学校説明会を実施する。	・内部進学制度や私立小学校への理解が深まったか。
学校課題③ 「あそびによる学び」のさらなる充実		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
本園の教育の特長は「課題あそびと自由あそび」「食育」「本物に触れる教育」「多文化教育」である。	・年間行事予定を感染拡大の状況を勘案しながら月別行事予定で確定する。 ・三大大行事「運動会・発表会・音楽会」を保護者参観で行う。	・毎月の行事が円滑に実施できたか。 ・子どもの成長を実感してもらえたか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍に於ける本園の特長ある教育活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省の「学校の新しい生活様式」に依拠し、安全・安心な教育活動を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本園の特長の教育活動を実施できたか。</li> </ul>
<b>学校課題④ 幼稚園と保護者との意思疎通の深化と協働による教育活動の実現</b>		
<b>本年度の施策内容（達成目標）</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
<p>よりよい教育を実現するためには学校と保護者との連携・協力が不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との意思疎通の深化を図る。</li> <li>・「父母の会」との連携・協力を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ「てのりの」を使った保育参観を含め、参観の機会を多く設ける。</li> <li>・保護者の心に寄り添う丁寧な面談を実施する。</li> <li>・園だより、学年だより、保護者会等で、行事の詳細や園の考え方を丁寧に説明する。</li> <li>・三人行事の衣装づくり等を含めて、行事への協力機会を設ける。</li> <li>・卒園児保護者満足度調査を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な保育参観ができたか。</li> <li>・面談で意思疎通が図れたか。</li> <li>・保護者の協力が得られたか。</li> <li>・総合満足度の「満足」が90%以上占めたか。</li> </ul>